

## 施策評価（令和5年度）

戦略3 観光・交流戦略			
目指す姿3 文化芸術の力による魅力ある地域の創生			
幹事部局名	観光文化スポーツ部	担当課名	文化振興課
評価者	観光文化スポーツ部長	評価確定日	令和5年7月31日

## 1 施策（目指す姿）のねらい（施策の目的）

秋田の文化芸術に対する若者等の関心が高まり、次の世代の担い手が確保されることにより、地域の伝統芸能等が維持・継承された魅力的でにぎわいのある地域の実現を目指します。

## 2 施策の状況

## 2-1 成果指標の状況及び定量的評価

	施策の方向性、指標名(単位)	年度	2019 (R元)	2020 (R2)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	直近の 達成率	判定	備考
①	【施策の方向性①～③】 文化事業への来場者数(人)	目標			135,000	270,000	360,000	455,000	205.8%	a	
		実績	450,445	54,435	277,888						
	出典:県調べ	達成率			205.8%						
②	【施策の方向性①～③】 あきた芸術劇場で開催される大規模イベント・興行数(件)	目標			42	42	42	42	233.3%	a	
		実績	-	-	98						
	出典:県調べ	達成率			233.3%						

※ 指標の判定基準

a: 達成率 $\geq$ 100%   b: 100% $>$ 達成率 $\geq$ 90%   c: 90% $>$ 達成率 $\geq$ 80%   d: 80% $>$ 達成率 $\geq$ 70%   e: 70% $>$ 達成率  
n: 実績値が未判明

定量的評価結果	計算式
4.00 (A相当)	① a判定 × 2個 = 8点                      ④ d判定 × 0個 = 0点
	② b判定 × 0個 = 0点                      ⑤ e判定 × 0個 = 0点
	③ c判定 × 0個 = 0点
	①～⑤の合計 8点 ÷ 2個(判明済み指標) = 4.00

※ 指標の判定基準 a:4点 b:3点 c:2点 d:1点 e:0点

※ 成果指標において実績値が未判明となった指標がある場合には、それを除いて平均点を算出する。

※ 定量的評価の判定基準

A相当:平均点が3.6点以上   B相当:平均点が3.2点以上3.6点未満   C相当:平均点が2.8点以上3.2点未満  
D相当:平均点が2.4点以上2.8点未満   E相当:平均点が2.4点未満

## 2-3 主な取組状況とその成果

### 【施策の方向性① あきた芸術劇場を核とした文化芸術の発信とにぎわいづくり】

- あきた芸術劇場ミルハスの整備や開館に伴う準備を計画どおり進めるとともに、開館記念式典及びグランドオープン記念特別公演では、あきた芸術劇場ミルハスを広く県内外に周知し、利用促進に寄与したほか、県民・市民参加型ミュージカル公演では、県民・市民の文化芸術活動の活性化を図った。
- あきた文化情報サイト「ブンカDEゲンキ」及びFacebookにおいて、県主催事業やあきた文化交流発信センターのイベント情報等を随時発信した。「ブンカDEゲンキ」のページビュー数は97,440回、Facebookのリーチ数は7,421、YouTubeチャンネル再生回数は76,984回であった。
- あきた芸術劇場ミルハスの更なる周知を図るため、開館記念式典（参加者742人）、グランドオープン記念特別公演（参加者1,893人）、県民・市民参加型ミュージカル（参加者1,339人）を実施したほか、県内在住のプロアーティストの活躍の機会を創出するため、ステージイベント（参加者1,879人）等を開催し、今後の活動意欲の向上を図った。

### 【施策の方向性② 文化芸術活動の促進と次代を担う人材の確保・育成】

- 青少年音楽コンクールなど県民の発表機会の提供や若手アーティストの活動支援、優れた作品や文化芸術活動の顕彰により活動意欲の向上を図るとともに、アウトリーチ事業では質の高い音楽の提供や演奏指導により人材育成に努めたほか、あきた文化交流発信センターにおいて県民が気軽に文化芸術に親しむ機会を設けた。
- 「秋田県芸術選奨」（1人）、「ふるさと文化賞」（2団体）を贈り、優れた活動を顕彰した。また、「青少年音楽コンクール」（参加者延べ147人）を開催したほか、県民の創作意欲の高揚と文芸活動の普及振興を図ることを目的に、広く県民から文芸作品を公募し、受賞作品を掲載した作品集を刊行した（応募作品242点）。
- 「アーツARTあきた」において、県内で活躍するアーティストによる美術展覧会（出展アーティスト8人、来場者686人）を開催したほか、展覧会等での発表を希望する若手アーティストを募り、活動を支援（アーティスト6人、来場者687人）した。
- 新たに実施した音楽アウトリーチ事業では、県央地域の小中高生（参加者595人）を対象にプロの演奏家による質の高い音楽を提供するとともに、高校の吹奏楽部には演奏指導を行ったほか、県内外の若者等に対し、体験を通じて県内の伝統行事への理解や関心を促すワークショップ（参加者150人）を開催した。

### 【施策の方向性③ 文化芸術を通じた交流人口・関係人口の拡大】

- 舞踊・舞踏の聖地をPRする「舞踊・舞踏フェスティバル」や県内の伝統行事が一堂に会する「新・秋田の行事」を開催するとともに、文化団体が行う集客力の高い文化事業や交流人口拡大に資する取組への支援を行ったほか、伝統行事の体験を通じて本県文化への興味・関心を促し、交流型イベントでは多くの来場者に文化の魅力を発信した。
- 一昨年コロナ禍の影響で中止となった「舞踊・舞踏フェスティバル」（参加者639人）、「新・秋田の行事」（参加者40,457人）を開催することができたほか、新たに伝統行事の魅力を発信する「あきた無形民俗文化財万博」（参加者延べ924人）を開催し、交流人口の拡大に努めた。
- 県内を代表する劇団わらび座の県外公演を活用した県内の文化・観光情報を発信する事業では、魅力紹介パンフレットの配付（30万部）等を行ったほか、東北の祭りをモチーフとしたノンバーバル（非言語型）のミュージカルを制作した。

## 3 総合評価と評価理由

総合評価	評価理由
<b>A</b>	<p>成果指標の達成率を基にした定量的評価は4.00で「A相当」であることから、総合評価は「A」とする。</p> <p>【定性的評価として考慮した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>

#### 4 県民意識調査の結果

質問文		国内外に秋田ならではの文化の魅力が伝えられている。					
満足度		調査年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	前年度比
満足度	肯定的意見		16.6%				
	十分 (5点)		1.8%				
	おおむね十分 (4点)		14.8%				
	ふつう (3点)		41.9%				
	否定的意見		32.0%				
	やや不十分 (2点)		20.2%				
	不十分 (1点)		11.8%				
	わからない・無回答		9.5%				
平均点			2.72				

※端数処理の関係で満足度の割合の合計は100%にならないものもある。

#### 5 主な課題と今後の対応方針

施策の方向性	課題	今後の対応方針
①	○ あきた芸術劇場ミルハスの開館に伴う県民の文化振興に関する気運の高まりを県民の文化芸術活動の促進と県全体の文化振興につなげ、ミルハスを核とした地域のにぎわいを創出することが求められている。	○ あきた芸術劇場ミルハスの適切かつ効率的な運営を行っていくほか、ミルハスの優位性を最大限にPRし、集客力のある公演の開催や周辺施設等と連携したイベント等の実施により、地域のにぎわい創出につなげる。
②	○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、文化団体等の発表や県民の鑑賞機会が減少していたが、回復に向けた兆しが見え始めていることから、本県の文化芸術を担う若手や文化芸術活動を行う団体等を支援し、県全体の文化振興の向上を図ることが求められている。  ○ 人口減少や高齢化が進行する中、地域の伝統行事や文化芸術活動の担い手が不足している。	○ 優れた作品や活動に対する顕彰、文化団体が行う活動への助成など、文化芸術活動に取り組みやすい環境づくりを進めるとともに、東京藝術大学との連携事業等を活用し、県民が文化芸術に触れ合う機会の確保や将来の本県の文化芸術を担う若手の育成を図る。  ○ 伝統行事への誘客の促進や担い手確保に向けた契機とするため、伝統行事の体験型プログラムの活用促進を図る。
③	○ 文化事業への来場者数はコロナ禍前までには回復していないことから、文化団体の更なる活動促進を図るとともに、地域資源を生かした秋田ならではの文化を国内外に発信し、誘客を図ることが求められている。	○ 秋田ならではの文化資源を活用した多彩な文化イベントによる魅力発信や伝統行事の体験型イベント等の実施を通じて、交流人口・関係人口の拡大を図る。

#### 6 政策評価委員会の意見

自己評価「A」をもって妥当とする。
-------------------